

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2001-116094 (P2001-116094A)
 【公開日】平成 13 年 4 月 27 日 (2001.4.27)
 【出願番号】特願 平 11-295863
 【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 H 7/18

F 0 2 B 67/06

F 1 6 H 7/08

【F I】

F 1 6 H 7/18 B

F 0 2 B 67/06 C

F 1 6 H 7/08 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 15 日 (2005.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 次平面的に交差する少なくとも 2 つのチェーンを備え、この 2 つのチェーンが交差する位置の近傍に、該 2 つのチェーンに対するチェーンガイドを一体に形成し配設したチェーン駆動装置において、

上記チェーンガイドは、一方のチェーンに沿って 2 つの取付孔を有し、該 2 つの取付孔のうち上記 2 つのチェーンが交差する位置から遠い一方の取付孔を、上記一方のチェーンの走行軌道に沿った長孔形状に形成し、他方の取付孔を、位置決め可能な大きさの丸孔形状に形成したことを特徴とするチェーン駆動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため請求項 1 記載の発明によるチェーン駆動装置は、2 次平面的に交差する少なくとも 2 つのチェーンを備え、この 2 つのチェーンが交差する位置の近傍に、該 2 つのチェーンに対するチェーンガイドを一体に形成し配設したチェーン駆動装置において、上記チェーンガイドは、一方のチェーンに沿って 2 つの取付孔を有し、該 2 つの取付孔のうち上記 2 つのチェーンが交差する位置から遠い一方の取付孔を、上記一方のチェーンの走行軌道に沿った長孔形状に形成し、他方の取付孔を、位置決め可能な大きさの丸孔形状に形成したことを特徴とする。このため、上記 2 つのチェーンは、互いに交差するチェーン軌道では、一体に形成されたチェーンガイドでそれぞれガイドされ、このチェーンガイドによりチェーン軌道の既定、チェーンのばたつきの防止、或いはチェーンへのテンション付加等の作用が得られる。そして、チェーンガイドは、一体に形成されているため、部品点数が増加することが無く、また、1 つのチェーンガイドを取り付ければ、そ

れぞれにチェーンガイドを取り付ける作業行程も必要ないため取付作業工程が増加することもない。また、丸孔形状の他方の取付孔により、位置決めができ、長孔形状の一方の取付孔により、一方のチェーンに沿った方向で正確な位置決めができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

更に、上記右側インテークカムスプロケット10Rとスプロケット13Rとの間のチェーン軌道上に配設される右上部チェーンガイド27は、チェーン軌道の既定、チェーンのばたつきの防止を主な役割として配設され、また、このチェーン軌道が若干長いことから、チェーン軌道を押し込むように接している。